

7月28日は肝炎デー

7月28日は世界肝炎デーです。わが国でも2年前から同日を日本肝炎デーに定め、検査、受診、治療を呼び掛けています。症状を放置すると肝がんに行進する可能性の高い肝炎について、順天堂大医学部附属静岡病院消化器内科の玄田拓哉医師に聞きました。

<企画・制作／静岡新聞社営業局>

ほとんどがウイルス性
—肝炎とはどのような病気ですか
玄田 何らかの原因で肝臓に炎症が起こる病気です。国内では患者さんの約8割がウイルス性肝炎と考えられ、そのほとんどがC型とB型肝炎です。ウイルスに汚染された血液や体液から感染し、放置すると、肝硬変から肝がんに行進する可能性が高い病気です。感染の有無は血液検査で調べることができます。

早期治療で治る病気に
—治療の現状を教えてください
玄田 インターフェロンの登場などによりC型肝炎は「治

一生に一度は 肝炎検査を



肝がんリスクを認識

—どのような人が検査を受けるべきですか
玄田 国民の40人に一人はB型、C型いずれかの肝炎に感染していると推測されるため、誰でも一生に一度は検査を受けるべきです。

健康診断の普及などで検査を受ける人は増えていますが、「陽性」と判定されていても専門医を受診しなかったりする人が多いのが大きな問題です。

陽性判定は血圧やコレステロール値が高いといった健康状態の指標ではなく、「放置すれば肝がんになる可能性もある」という警告だと認識する必要があります。陽性判定が出た人は、必ず医療機関で肝臓の状態を検査し、必要に応じて治療を受けてください。

る病気」となりつつあります。現状では約9割のC型肝炎が治るようになりました。B型も症状を抑える治療法が確立されています。

以前はすぐに治療せず経過を観察することもありました。が、現在では肝がんを防ぐことにもつながるため、早期の治療が常識となっています。

B、C型それぞれの治療については、医療費の月額自己負担限度額を定めた助成制度があるので利用してください。

将来、肝がんにならないためにも、血液検査を受け、陽性の場合には必ず受診しましょう。

肝疾患に関する相談、問い合わせは、順天堂大学医学部附属静岡院内「肝疾患相談支援センター」まで。

順天堂大学 医学部 附属 静岡病院

JUNTENDO UNIVERSITY
SHIZUOKA HOSPITAL

伊豆の国市長岡1129

TEL 055(948)5168

受付時間 10~16時
(土日祝を除く)

FAX 055(948)5182